

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 北
学校名 豊崎東小学校
学校長名 平 寿之

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動をご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・豊崎東小学校では、第6学年 43名

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度は、理科に於いて全国の正答率をわずかに下回っていたものの、国語、算数に於いては、大阪市と全国を上回っていた。国語に於いては、「言葉の特徴や使い方に関する事項」を除くすべての項目で、大阪市と全国を上回っている。算数に於いては、「数と計算」を除くすべての項目で、大阪市と全国を上回っている。無回答率については、昨年度までと比べ高く、国語5.3%、算数4.5%、理科4.9%となっている。

児童質問紙では、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目に於いて、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の肯定意見を併せると97.7%で、大阪市と全国を上回っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

平均正答率が大阪市と全国を上回っており、「言葉の特徴や使い方に関する事項」以外の項目で、両者を大きく上回っている。

[算数]

平均正答率が大阪市と全国を上回っており、「数と計算」以外の項目で、両者を上回っている。特に「図形」では、大きく上回っている。

[理科]

平均正答率がわずかに全国を下回った(0.3%)ものの、大阪市は上回っている。特に「粒子」を柱とする領域で両者を上回っている。

質問紙調査より

基本的な生活習慣に関する項目に関しては、「朝ごはん」が大阪市・全国を上回っているものの、「睡眠」「起床」は大阪市・全校を下回っており、昨年の本校の割合よりも下回っている。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目は肯定意見が大阪市・全国を上回っているものの、自尊感情や自己肯定感、自発性についての項目については、昨年同様低い傾向にある。この傾向は続いているので、本校の課題である。読書に関する項目は、肯定的な意見が多いものの、否定的な意見も多く、二極化が顕著に表れる形になった。

今後の取組(アクションプラン)

☆学習に於いては、全体的に平均正答率は高いものの、課題のある児童も顕著になっており、習熟度別学習のさらなる充実は言うまでもなく、それに併せて、担任と習熟担当との綿密な打ち合わせの下、児童一人一人の課題に合った指導を進めていく。

☆コロナ禍で児童の活動が制限され、子どもたち同士が関わる経験ができなかったので、今後は達成感や成就感を味わうことのできる活動を計画していく。

☆昨年に比べ、ICT機器の活用能力は上がったものの、一斉に使う機会が減り、個人の必要に応じ使う場面が多くなっているので、回答率としては昨年度を下回る結果になった。今後も持ち帰りを含め、授業での活用を図っていく。

☆学級活動や児童会活動の中で、互いに認め合える集団づくりを通して、自己肯定感や自尊感情を高め、寛容な心を持ち、望ましい人間関係を築くよう指導を進めていく。

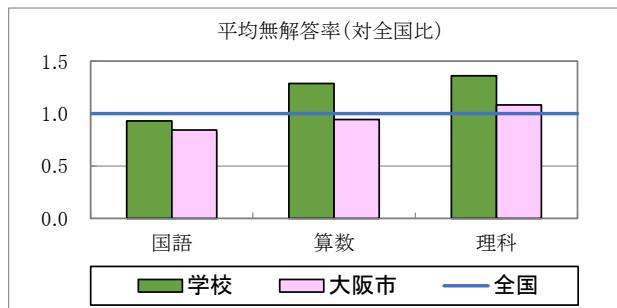
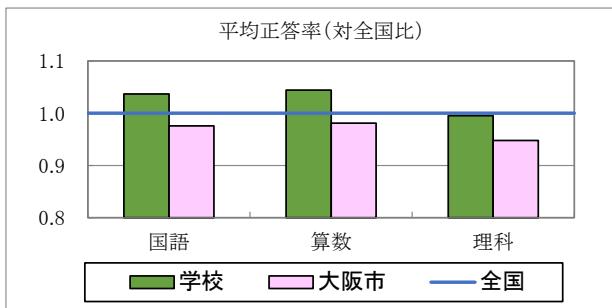
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	68.0	66.0	63.0
大阪市	64.0	62.0	60.0
全国	65.6	63.2	63.3

平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	5.3	4.5	4.9
大阪市	4.8	3.3	3.9
全国	5.7	3.5	3.6



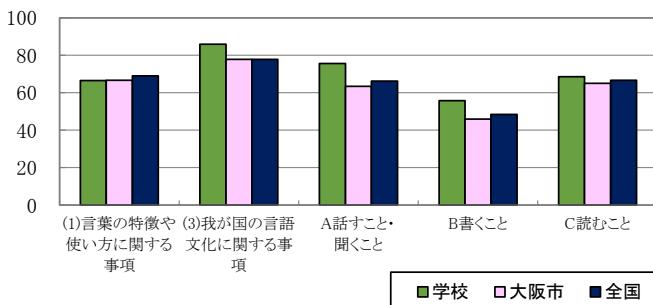
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	66.5	66.7	69.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	86.0	77.8	77.9
A 話すこと・聞くこと	2	75.6	63.4	66.2
B 書くこと	2	55.8	46.0	48.5
C 読むこと	4	68.6	65.0	66.6

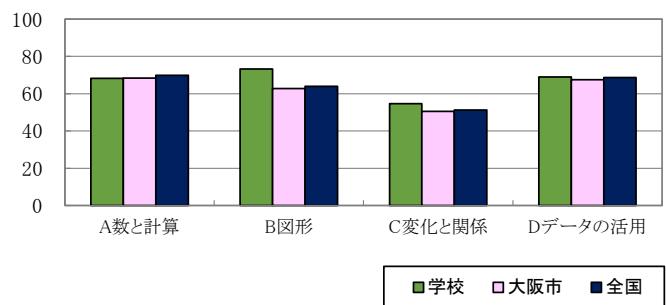
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	68.2	68.4	69.8
B 図形	4	73.3	62.8	64.0
C 測定	0			
C 変化と関係	4	54.7	50.5	51.3
D データの活用	3	69.0	67.5	68.7

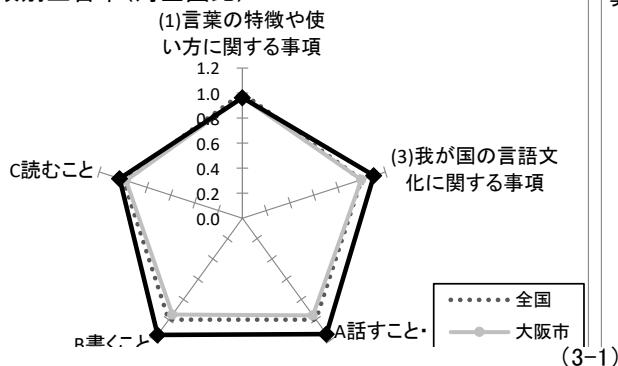
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



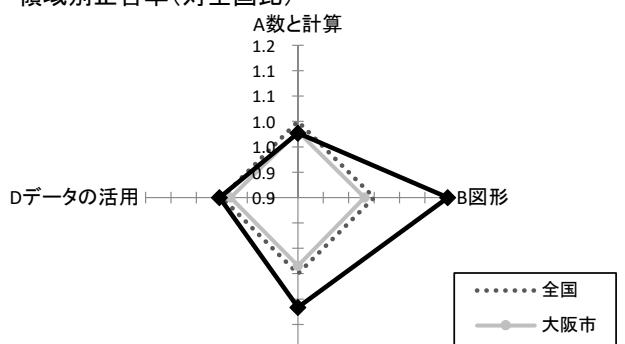
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



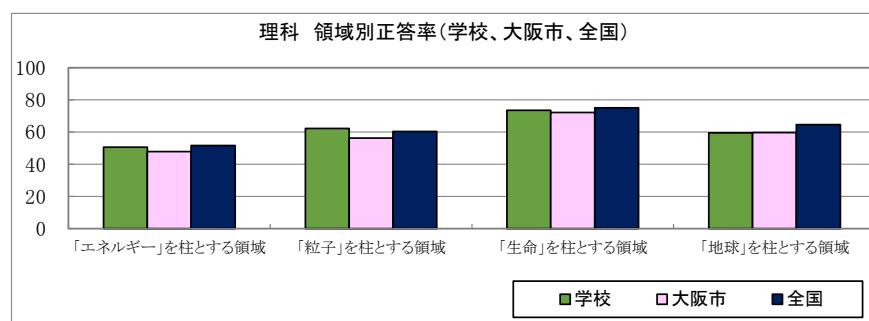
算数 領域別正答率(対全国比)



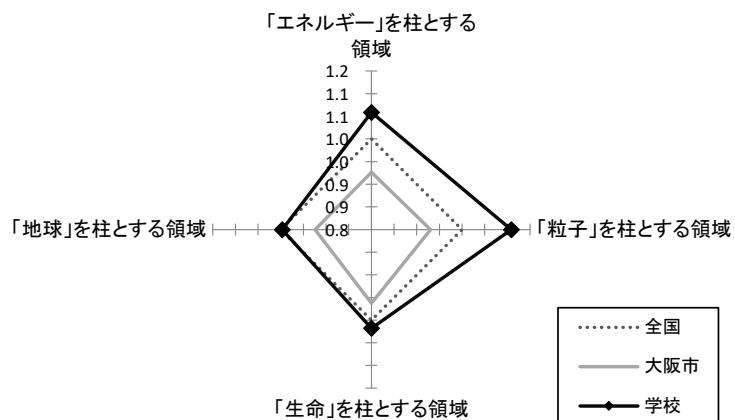
(3-1)

【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	50.6	47.8	51.6
	「粒子」を 柱とする領域	5	62.3	56.2	60.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	5	73.5	72.2	75.0
	「地球」を 柱とする領域	5	59.5	59.7	64.6



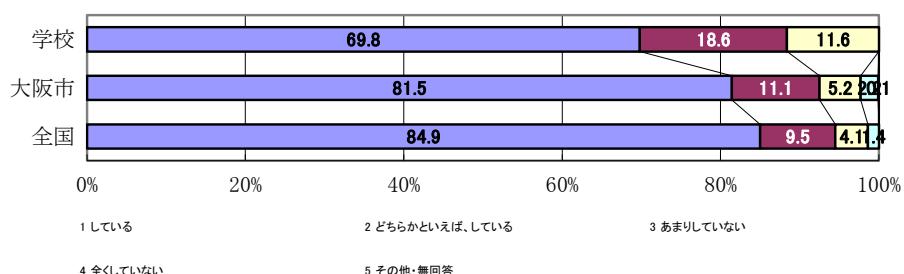
理科 領域別正答率(対全国比)



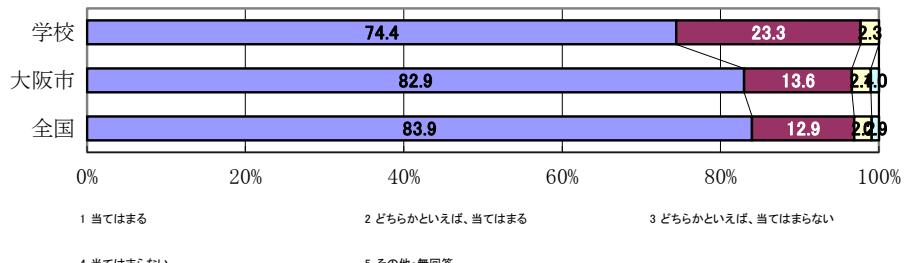
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

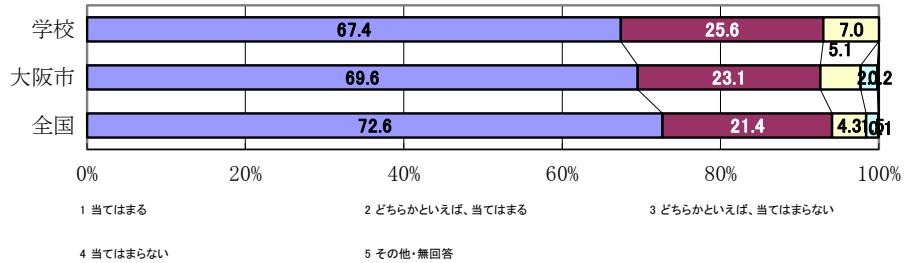
質問番号
質問事項
1
朝食を毎日食べていますか



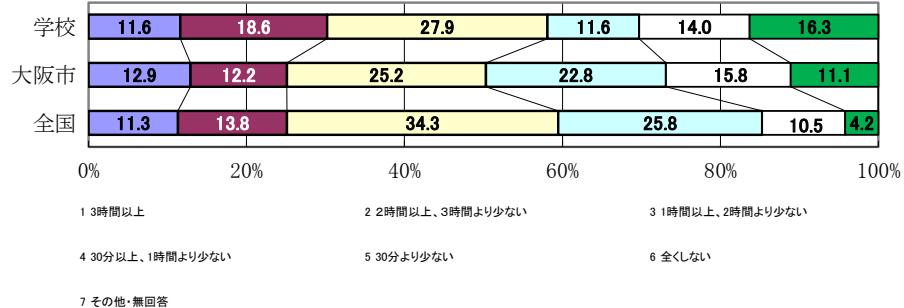
13
いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



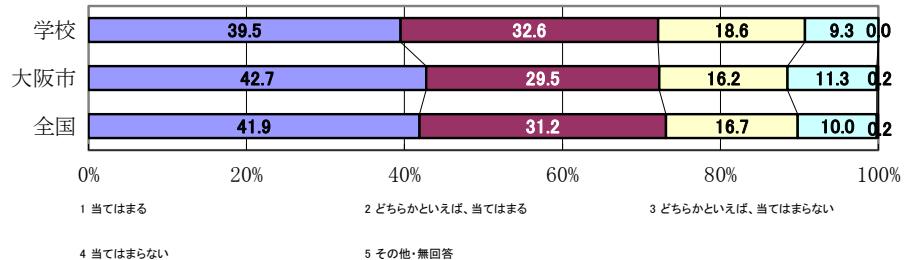
18
友達と協力するのは楽しいと思いますか



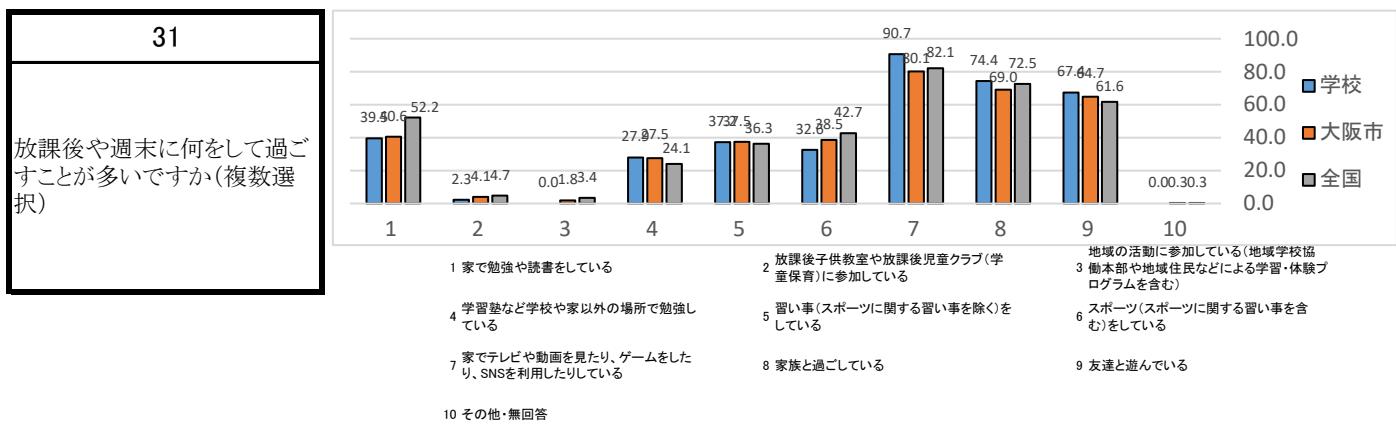
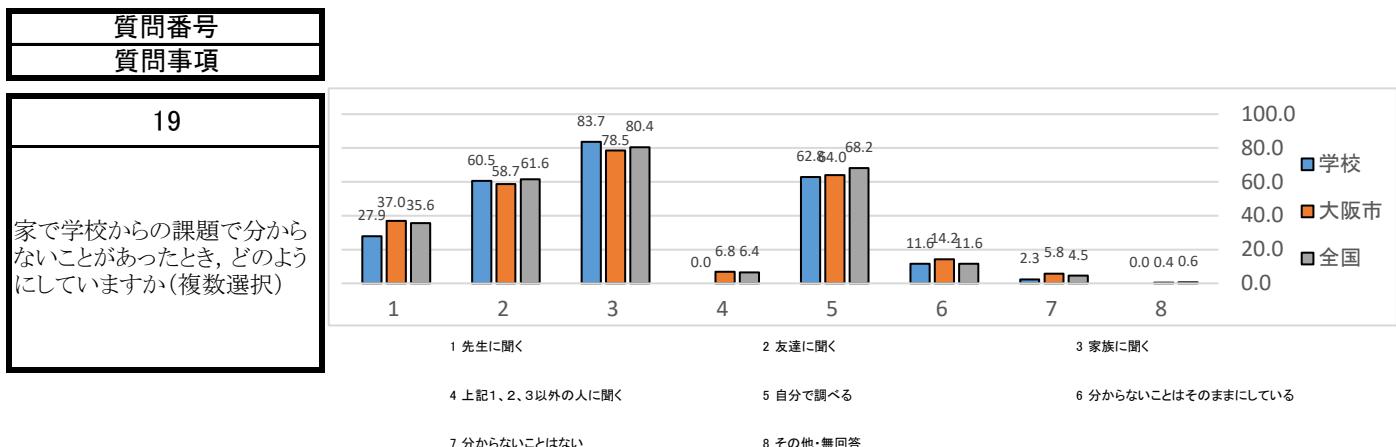
21
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



26
読書は好きですか



児童質問紙より



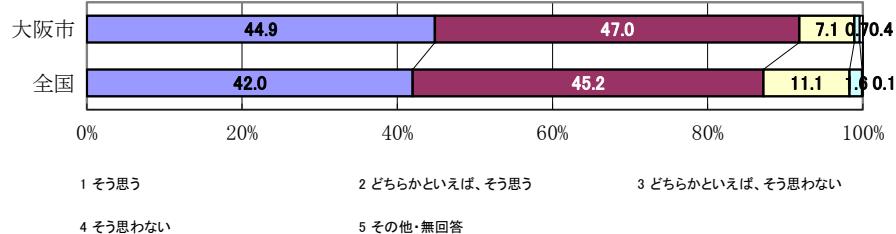
学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項
7

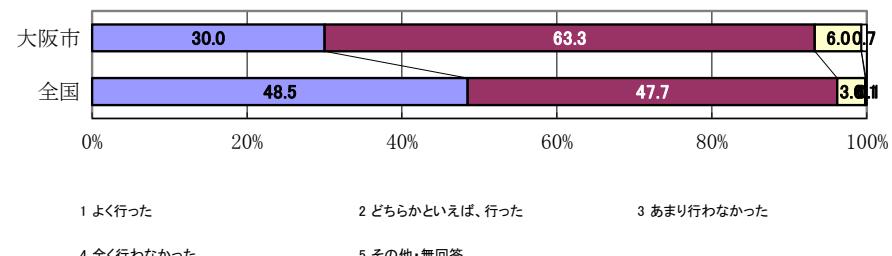
調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



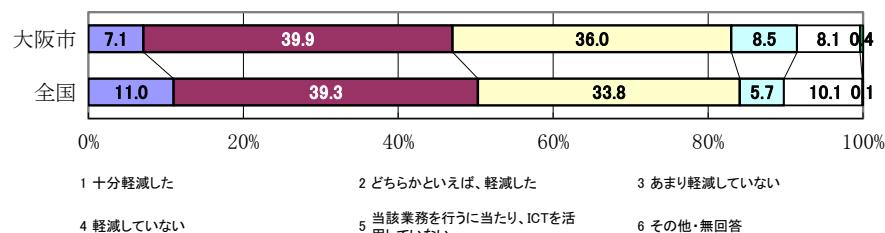
9
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



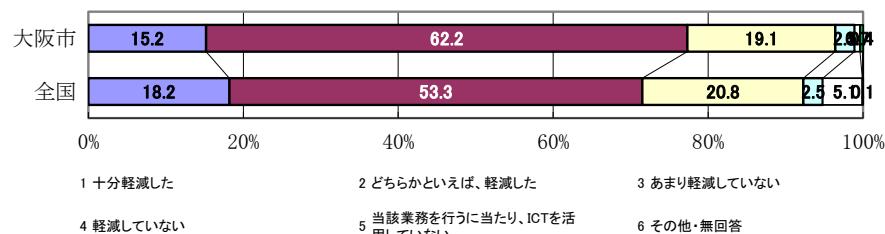
15_3
ICTを活用した校務の効率化を通じて、学校からのお知らせ(学校通信等)は軽減しましたか

学校 「どちらかといえば、軽減した」を選択



15_4
ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員等会議に関する事務は軽減しましたか

学校 「どちらかといえば、軽減した」を選択



23
調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

